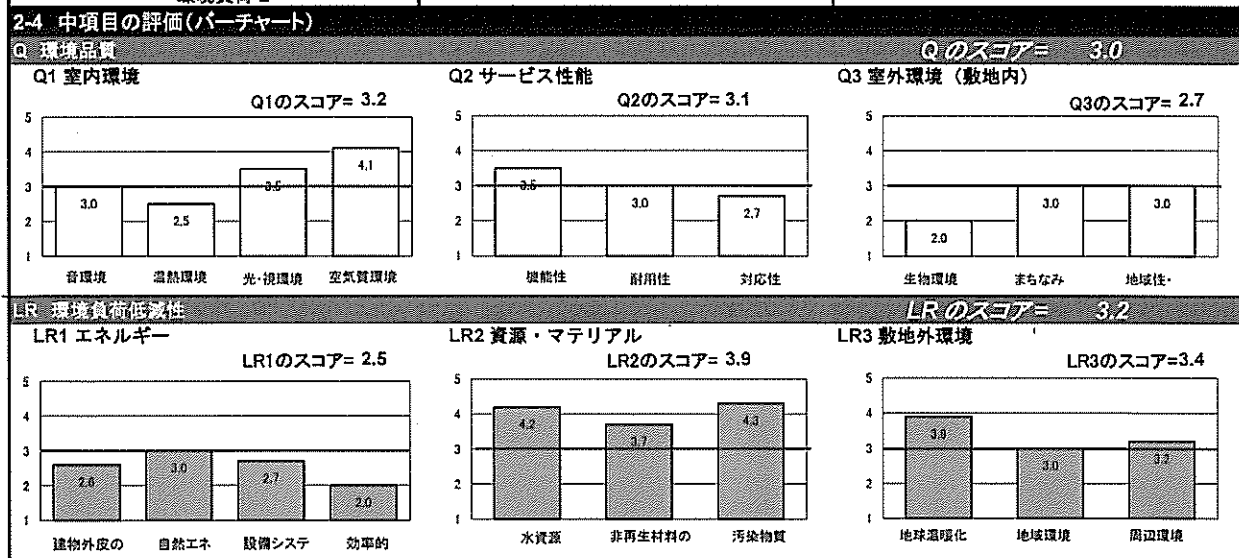
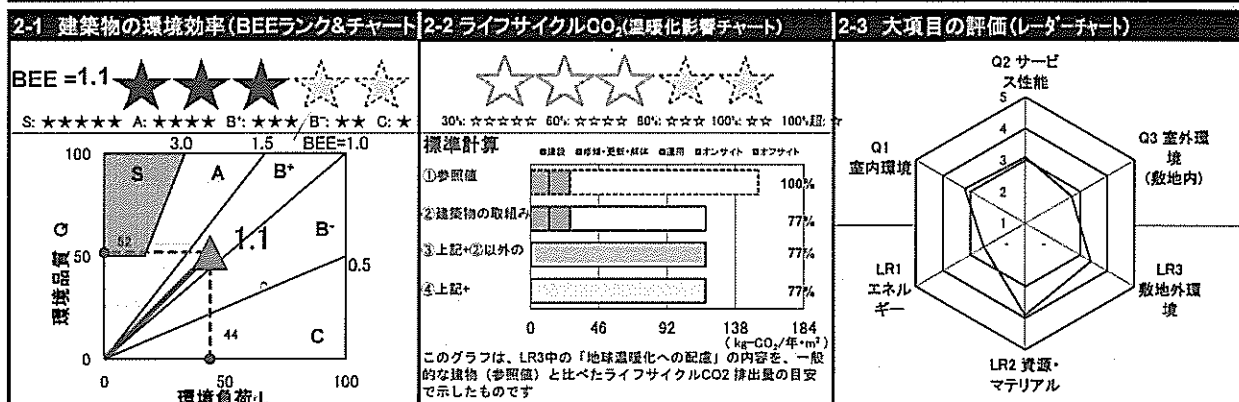
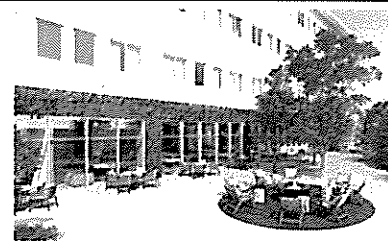


CASBEE®-建築(新築) 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_追補版 (使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3.2))

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	〈仮称〉るり温泉ホテル	階数	地上4F
建設地	京都府南丹市園部町大河内北へら	構造	RC造
用途地域	都市計画区域外	平均居住人員	396 人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,616 時間/年(想定値)
建物用途	ホテル,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年8月 予定	評価の実施日	2024年7月29日
敷地面積	9,676 m ²	作成者	根津嗣郎
建築面積	923 m ²	確認日	
延床面積	2,670 m ²	確認者	



3 設計上の配慮事項		
総合 十分な照明・内装の事前検証により居心地・快適性の向上に努める。 上水の代わりに井水を全面的に使用し水資源保護に寄与する。 環境影響を及ぼす可能性のある化学物質の使用削減に努める。		その他 特になし
Q1 室内環境 建築材料への全面的なF☆☆☆☆使用、ビル全体を禁煙とする等、室内空気を健全に保てる様、配慮している。	Q2 サービス性能 配管材は更新間隔が長い材料を使用する事を前提とした。又、インテリアバスによる照明計画と内装計画一体での事前検証により、魅力的な空間を作る為の取り組みを行っている。	Q3 室外環境(敷地内) バルコニー・テラスを積極的に設け、奥行のある豊かな空間を形成している。又、敷地周囲への囲障を避け見通しの良い空間とする事で防犯性にも配慮している。
LR1 エネルギー 外壁・屋根等で断熱性の高い工法とし、窓部においてはLow-eガラス・複層ガラス等の省エネ性の高いものを採用し、建物の外皮の熱負荷抑制を行っている。	LR2 資源・マテリアル 発泡断熱材にノンフロン断熱材を使用する等、汚染物質の使用を極力回避している。又、生活用水に井水を全面的に使用する事で水資源の保護に寄与している。	LR3 敷地外環境 広告物照明は行わず総合効率の高い屋外照明の採用をする事により、光害の抑制を行っている。又、敷地外に共同駐車場を設け十分な駐車台数を確保する事により地域環境への配慮を行っている。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される